

社会資本総合整備計画 中間評価書

平成30年3月14日

計画の名称	11 晴れの国おかやま生き生きプランによる「生き生き岡山」の実現（防災・安全）							重点計画の該当		
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度（5年間）			交付対象	岡山県、笠岡市、井原市、瀬戸内市、赤磐市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町、高梁市、新見市、真庭市、和気町、新庄村、鏡野町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町、吉備中央町、倉敷市、津山市、玉野市、総社市、備前市、美作市、勝央町					
計画の目標	「道路の防災・耐震対策」や「歩道整備・交差点改良等による交通事故防止対策」等の命と暮らしを守るインフラの再構築及び生活空間の確保に資する施設の整備・更新を行い、安心して豊かさが実感できる地域の創造をはかる。									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における通行安全確保率を8%向上 ・事故対策により死傷事故件数を概ね10%減少 									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)				
① 災害時通行安全確保率の確保 Σ事業後の対策箇所数（耐震、防災） / Σ事業前の要対策箇所数（耐震、防災） × 100				42%確保	46%確保	50%確保				
② 事故対策による死傷事故件数の減少割合（死傷事故減少率） 死傷事故減少率 = （整備前死傷事故件数 - 整備後死傷事故件数） / （整備前死傷事故件数） ※死傷事故件数は岡山市分を除く				-	3%減少	10%減少				
全体事業費	合計 (A+B+C)	60,008 百万円	A	57,680 百万円	B	1,190 百万円	C	1,138 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	1.9%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	中間評価の実施時期
	平成30年3月
岡山県において評価を実施	公表の方法
	岡山県ホームページで公表

○事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・(国)181号の道路防災や(国)374号(備作大橋)の橋梁耐震対策等を行ったことにより、災害時における通行の安全性の確保が図られている。 ・(国)313号(北房拡幅)や(主)倉敷清音線等の交通安全対策(歩道整備・交差点改良等)を行ったことにより、死傷事故件数を減少できている。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（災害時通行安全確保率の確保）	中間目標値	46.0%	目標値と実績値に差が出た要因	・計画的に道路の落石対策や橋梁の耐震を進めた結果、目標どおりであった。
		中間実績値	46.0%		
	指標②（事故対策による死傷事故件数の減少割合）	中間目標値	3.0%	目標値と実績値に差が出た要因	
		中間実績値	26.4%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況		・道路の防災対策や交通安全対策により、平常時においても県民の安全・安心で快適な生活環境を維持することに寄与している。			

○特記事項（今後の方針等）

・目標達成に向け、引き続き効率的・効果的な道路の防災対策や交通安全対策を推進する。